

しずく 議会だより

No.97

2016.4

編集/議会広報編集特別委員会

●今号の主な内容

3月定例会、予算特別委員会…2

町政を問う

一般質問 10議員が質問…10

常任委員会報告…21

ふるさとへの便り(63)…23

●今号の表紙/まちの笑顔シリーズ

「雫石ジュニア卓球クラブ」…24



予算総額157億9,507万5千円を可決

一般会計予算は賛成 10、反対 4

平成 28 年度第 2 回 3 月定例会は 2 月 25 日から 3 月 18 日までの 23 日間の会期で行われました。

3 月 9、10、14、15 日は予算特別委員会（委員長 山崎留美子）を開き、10 件の 28 年度予算を審査し、原案可決すべきものとなりました。

本定例会では計 44 件の案件を全て原案通り可決しました。

一般質問は、10 名が登壇し、町当局の考えをたしました。

議案	件数
条例の制定・改正等	16
平成 28 年度会計予算	10
平成 27 年度補正予算	11
その他	7
計	44

平成 28 年度各会計当初予算

会計名	予算額	対前年比（増減）
一般会計	90 億 7,000 万 0 千円	2 億 1,500 万 0 千円
国民健康保険	23 億 5,183 万 4 千円	2,841 万 8 千円
御明神財産区	1,211 万 7 千円	397 万 6 千円
簡易水道事業	4,698 万 2 千円	1,479 万 3 千円
介護保険事業勘定	17 億 5,906 万 5 千円	△ 3,317 万 8 千円
介護保険介護サービス事業勘定	1,501 万 7 千円	10 万 0 千円
雫石町立雫石診療所	3 億 8,308 万 0 千円	792 万 8 千円
後期高齢者医療	1 億 4,746 万 5 千円	△ 738 万 0 千円
水道事業	6 億 5,811 万 6 千円	273 万 2 千円
下水道事業	13 億 5,139 万 9 千円	3,677 万 6 千円
総合計	157 億 9,507 万 5 千円	2 億 6,916 万 5 千円

総務費

問 移住 PR 動画作成委託料 715 万 9 千円はどこに委託し、どのように活用していくのか。

答 盛岡にある全国的に有名になった CM を作った業者を想定している。活用法としては、現在総務省で移住・定住向けに全国移住ナビというホームページがあり、そこに掲載し、若者を含めた栗石への移住・定住を PR していく。



移住 PR 動画撮影の様子

問 半年後の希望郷いわて国体へ向けた本町の受け入れ体制、事務的な面も含めてどのように準備しているか。

答 国体推進室を設置し、総務、競技、輸送、おもてなしの各部門ごとに担当する課から職員を集め準備していく。町内の方々からもボランティアを募集したいし、小中高生からもご協力いただき町民が一体となって成功に向け取り組んでいきたい。

問 地域コミュニティ形成推進事業交付金 852 万円の内容及今後の見通しは。

答 27 年度から内容を見直しし、1 自治会、1 コミュニティ 6 万円の定額、それに世帯数×900 円を合わせた額である。現在登録されている 64 コミュニティの交付金になる。当面見直すつもりはないが、地域づくりには一番大事な組織と考えているので今後も活動を支援していきたい。

問 土地評価更新委託料 370 万円はどういった内容か。

答 土地の評価は 3 年サイクルで行われているが、その評価に係る路線地価形成要因の調査分析等の業務委託である。

民生費

問 町社会福祉協議会運営費補助金の中に新聞購読料や消耗品、電話やファックス使用料、建物の火災保険料等入っているが補助金として妥当か。

答 運営上必要であろうと予算要求したが、指摘を受けて再度精査した。特に火災保険料については不相应を感じているので、補助金の執行に当たっては再度精査していく。

問 町社会福祉協議会の 26 年度決算報告書によると、剰余金が 1 億 242 万円もある。この運営に対しての補助金は適正なのか。

答 保育園の運営費に係る補助も含まれているが、剰余金は子どもたちのために使われるべきものだとすることで積み立てとなっている。

問 町内にもいると思われる保育所の待機児童に対し、28 年度の対策は打ち出しているか。

答 年度途中で 20 名前後発生する予想がある。保育所に空きがある場合は、臨時保育士を確保しながら事業を行っているが、保育士の確保がむずかしい状況にもある。

衛生費

問 放射線量等測定は過去 5 年間ほど行っているが、その内容と数値の上での変化はどうか。また、今後も継続していくのか。

答 町民が持ち込んだ一般食品と産直出荷の山菜と保育施設や小学校の給食材等を測定している。食品についてはほとんど不検出になっているが、放射線量を気にしている方もいるので調査は続けるべきだと考えている。

労働費

問 若者雇用拡大奨励金とは、どういうものか。

答 平成 28 年度新規事業で、40 歳未満を雇用した町内事業所に対して、1 人につき 5 万円を交付するもの。

農林業費

問 アグリリサイクルセンター 1,380 万円の起債をして行う事業の内訳は。

答 施設は 10 年以上経過し、備品も老朽化が進んでいる。攪拌機更新工事、堆肥化施設更新工事、管理備品の購入などである。

問 森林病害虫対策約 4,000 万円の内容は。

答 松くい虫被害が見られる七ツ森町有林の伐採と活用による樹木の種類転換に取り組むが、木材として利用できるか、観光振興なり景勝地として活用できる種類にするか、町民の意見を聞きながら進めたい。

問 畜産振興費に、若い酪農家育成補助事業があるが、どういう事業か。

答 若い酪農家への日本一チャレンジ応援事業補助金で、経営の所得向上に向けて導入する受精卵の購入や種付などに、町と JA で 4 分の 1 ずつ応援しようとするもの。



日本一へチャレンジする若い酪農家

商工費

問 雫石駅前イベント交通広場歩道等舗装改修工事費が計上されている。これは町民と議会との懇談会で要望された件に対応したものと思うが、その内容は。

答 歩道ブロックが浮いた危険箇所の改修および街灯の新設・交換・LED 照明化等安全性・利便性の向上を図り、早急な工事完了を目指す。

問 しずくいし観光協会の補助金が年々増加しているのはなぜか。

答 平成 28 年度は前年に比べ、ホームページ更新費用や着地型旅行商品の企画販売強化の件数等確保のために補助金が増額となっている。

問 空き店舗対策の内容は。

答 町内の空き店舗を活用した事業主に対して、家賃や改修工事費の一部を補助し 1 年間助成を継続しようとするもの。事業の成果を検証しながら 3 年程度は継続すべきと考えている。

土木費

問 雫石東八幡平線道路促進協議会予算について、整備促進のため視察等行ってはどうか。

答 町が平成 28 年度事務局になっている。八幡平市とも協議をしながら検討していく。

問 雫石川園地刈払等業務委託料の内容は。公衆トイレ設置は検討されているか。

答 雫石川園地は桜の名所であるため、環境整備のための刈り払い・樹木の囲い・仮設トイレ設置等の業務である。河川敷であり建物設置はできないので、公衆トイレ設置は駐車場整備と併せて今後総合的に検討していく。

問 中心市街地活性化推進事業費補助金について、中心商店街の道路整備はどのようになっているか。

答 県道であり、過去に交通量調査やワークショップが開催されたが、具体的な県への要望には至っていない。平成 28 年度は、道路については県、電線等については東北電力等々関係者、また地域住民の協議会からの意見も伺いながら推進体制を整えたい。

教育費

問

ドイツ友好都市青少年留学の翼事業に三役 2 人、町国際交流協会 5 人も行く目的と内容は。

答

従来の中高生のドイツ留学のほか、長年の留学受け入れに対するお礼と東日本大震災被災地への寄付等のお礼を兼ねて、町長、教育長、町国際交流協会 5 名（経費の 2 分の 1 助成）がドイツを表敬訪問する計画となっている。



15 年以上続いている交流事業、平成 27 年度ドイツからの留学生

問

栗石高校を存続させるために、町として考えていることがあるか。

答

進学あるいは就職する場合に、資格が取れるようなコースをやってくれということを現在県に要望している。また、今後の栗石高校のあり方について、何か特色のある学科の創設、農林業や観光などの学科再編や変更についても要望している。



存続が望まれる栗石高校

特別会計

問

国保税収入が 5,500 万円程減収となっているが、保険給付費は 5,200 万円程増加している。この歳入不足を補うような形で前期高齢者交付金が 1 億 5,000 万円程増加しているのはなぜか。

答

当町の場合は、前期高齢者の国保加入割合が 41% と高いため、財政調整ということで社会保険から前期高齢者交付金を受けている。28 年度概算額の増加分と 26 年度精算に伴う増加分で 1 億 5,000 万円程増加したものである。一般会計からの法定外繰入金は 7,300 万円程で前年度より 9,000 万円程減少している。

総括

問

補助金見直し基準の中に、町社会福祉協議会等は独立採算に向けて努力し、運営費については経費や補助率を見直すことになっている。28 年度予算を執行していく上で見直していく考えはないか。

答

今後、補助金については執行の段階で、情勢等も合わせてしっかりと精査、協議しながら進めていく。また、各課ごとに周知し、無駄のないように努力していく。

問

町税収入は 19 年度と比較し 3 億円ほど減っており、年々減少傾向にあるが、どのように状況を分析しているか。

答

土地評価額等が年々下がっており、固定資産税が減少傾向である。また、税率等の改正もあり、今後は法人税率の引き下げも予定されている。

町当局に4項目の意見を提言

意見

1

有害鳥獣駆除のため狩猟免許を持つ後継者対策を進めるべき。



意見

2

雫石は中学生まで医療費が無料だが、窓口負担をなくすべき。



意見

3

国の集落支援員制度を検討、活用してはどうか。



意見

4

町が貸している射撃場は利用者が少なくなっている。利用転換するなど活用方法を検討してはどうか。



討 論

平成 28 年度予算決議に対する討論（要旨）

平成 28 年度一般会計、特別会計および企業会計を議決することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。



反対 川口一男議員

予算審査での当局答弁は、多くの疑念を払拭できてない。例えば近年の米価の下落に対しても国、県が行っていること以外、町独自の対策もなく、国、県が立てたものを町が行ったような言い方をしている。上乗せ交付金の優先配分を受けるため、国の政策誘導である日本版*CCRC 関連の 14 ヘクタール町有地活用事業、空き家対策事業、高齢者の移住計画などは、町のインフラ整備や医療、介護など、町の負担が増加することが確実である。特にこの事業では随意契約が多く、そのありかた等の見直し提案に対し、今後も随意契約を行っていくとの町長の強力な発言は看過できない。

また、社会福祉協議会、雫石町観光協会、雫石商工会、ドイツ友好都市青少年留学の翼事業などへの補助金支給に委員から多くの疑義が出され、町民も疑念を持っている。

○他に加藤眞純議員が反対討論をした。

*CCRC：生涯活躍のまち構想（主に都市部の高齢者を地方へ移住促進する）

賛成 堂前義信議員



厳しい経済情勢の中で、復旧、復興に向けての取り組みがほぼ完了し、新年度予算においては町民の福祉向上に向けた予算であることが随所にかがわれる。

少子高齢化、人口減少に対する施策などを盛り込んだ地域づくり構想は、地区のよいところを発展させ、総合的には町全体の発展に結びつけようとしている。

また、農林水産業費でも町の特産でもある雫石牛の経営が素牛の高騰などで大変苦慮していることへの配慮など、農業振興に対する施策を含め、観光商工費、教育費など、重要度に配慮した予算編成である。

予算執行は、意見などを真摯に受けとめ、熟慮しながら執行していくとのこと、町長の努力と指導力、職員の努力と結束力に期待し、町長の決意を重く受けとめたい。

○他に上野三四二議員が賛成討論をした。

条例の一部改正（主なもの）

○課設置条例の一部改正

平成 28 年 4 月 1 日から、福祉課を総合福祉課と長寿支援課とする。復興整備課は事業終了につき廃止となる。

○出産祝金条例の一部改正

平成 28 年 4 月 1 日から、出産祝金が第 3 子以上の出産児 1 人につき 5 万円から 10 万円となり、その 2 分の 1 は商品券により支給される。

○定住促進住宅条例の一部改正

平成 28 年 4 月 1 日から、入居者の資格が単身者でも入居可能に緩和される。連帯保証人の条件は、県内居住者限定から県内限定が外れる。

平成 27 年度補正予算のあらまし(主なもの)

以下の一般会計補正予算 2 件を含む計 11 件の補正予算を可決した。

○平成 27 年度一般会計予算（第 8 号）

定住交流促進事業、スーパーエコスクール事業予算などを盛り込んだ一般会計補正予算が可決した。

補正前の額	補正額	計
98 億 6,363 万 6 千円	6 億 6,897 万 1 千円	105 億 3,260 万 7 千円

主な予算内訳

- ▶定住交流促進事業 1,599 万 4 千円
- ▶スーパーエコスクール事業 4 億 1,855 万 1 千円
- ▶担い手確保・経営強化支援事業費補助金 1 億 1,400 万 9 千円
△ 2,671 万 6 千円
- ▶除雪事業

○主な質疑

問 定住交流促進事業（移住促進センター運営、移住体験ツアー実施、移住促進イベント開催）は、前回（約 5,500 万円）同様随意契約（以下、随契と略す）で財務規則第 95 条（随契は 50 万円まで）によらず、青天井無制限に契約できる施行令第 167 条の 2 第 1 項 2 号を適用するのか。

答 前回同様随契で、同様の団体と契約する予定である。

問

早稲田大学が今まで約 2,000 万円以上かけてきた調査計画書に基づいて、本来まちづくり会社がやるべき業務を、まちづくり会社構成団体の会社や早稲田関連団体と随意契約し、見積もり内訳が無く合計金額のみ。複数の議員が懸念しているこのような契約の一連の流れはおかしいし、町民に説明がつかないのでは。

答

まちづくり会社とは関係のない、*CCRC や総合計画推進モデルプロジェクトを熟知していない者に発注した場合は、求める成果を得られないと考える。自分たちがやっていくという責任のもとに調査してこそ、高い成果が出てまちづくり会社の運営に反映できると考えている。

*CCRC：生涯活躍のまち構想（主に都市部の高齢者を地方へ移住促進する）

○平成 27 年度一般会計補正予算（第 9 号）

補正前の額	補正額	計
105 億 3,260 万 7 千円	△ 1 億 141 万 9 千円	104 億 3,118 万 8 千円

主な予算内訳

- ▶担い手確保・経営強化支援事業費補助金 △ 1 億 141 万 9 千円
- ▶アグリリサイクルセンター製品保管庫屋根補修工事 1,448 万 3 千円

公の施設の指定管理者の指定

次の 2 施設の指定管理者の指定を可決した。

公の施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定の期間
七ツ森保育所	栗石町板橋 25 番地 社会福祉法人 のぞみ会 理事長 菊池 敏夫	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
コテージ村施設（管理センター、体験農園）	栗石町上町東 24 番地 8 NPO 法人 しずくいし・いきいき暮らしネットワーク 理事長 西山 甲士良	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日

請願・陳情

件名	提出者の住所および氏名	審査結果
TPP 交渉の情報公開と TPP からの撤退・調印中止を求める請願	盛岡市本宮字小林 46-1 農民運動岩手県連合会 会長 久保田 彰孝	調印終了に付き、情報公開を求めることには賛同する一部採択とした。

平成 28 年第 2 回 雫石町議会 3 月定例会 議決結果等一覧 会期：2 月 25 日(木)～3 月 18 日(金)

議案番号	議案名	堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤真純	採決結果	
議案第 1 号	雫石町行政不服審査法施行条例の制定について (町行政不服審査会の設置など)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 2 号	雫石町職員の降給に関する条例の制定について (町職員の降給の事由等についてを規定)	○	○	欠	○	●	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第 3 号	雫石町準用河川占用料条例の制定について (準用河川の土地占用料を徴収する事項など)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 4 号	雫石町教育研究所設置条例の制定について (町教育研究所を設置)	○	○	欠	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 5 号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 6 号	地方公務員法等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 7 号	雫石町課設置条例の一部改正について (復興整備課を廃止、総合福祉課・長寿支援課を新設など)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
議案第 8 号	雫石町情報公開条例及び雫石町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 9 号	雫石町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	欠	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 10 号	雫石町出産祝金条例の一部改正について (出産祝金を 5 万円から 10 万円(一部商品券)とする)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 11 号	雫石町体験農園条例の一部改正について (利用料金制を導入)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 12 号	雫石町定住促進住宅条例の一部改正について (入居者の資格要件等を緩和)	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 13 号	雫石町患者等輸送車運行管理条例の廃止について	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 14 号	雫石町ふるさと水と土保全基金条例等の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 15 号	平成 27 年度雫石町一般会計補正予算(第 8 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 16 号	平成 27 年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 17 号	平成 27 年度雫石町御明神財産区特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 18 号	平成 27 年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 19 号	平成 27 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 20 号	平成 27 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 21 号	平成 27 年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 22 号	平成 27 年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 23 号	平成 27 年度雫石町水道事業会計補正予算(第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 24 号	平成 27 年度雫石町下水道事業会計補正予算(第 5 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 25 号	平成 28 年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 26 号	平成 28 年度雫石町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 27 号	平成 28 年度雫石町御明神財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 28 号	平成 28 年度雫石町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 29 号	平成 28 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 30 号	平成 28 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 31 号	平成 28 年度雫石町立雫石診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 32 号	平成 28 年度雫石町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 33 号	平成 28 年度雫石町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 34 号	平成 28 年度雫石町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 35 号	第二次雫石町総合計画後期基本計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 36 号	雫石町の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 37 号	あっせんの申立てに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第 38 号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案等番号	件名	議員名													採決結果		
		堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二		坂下栄一	加藤眞純
議案第39号	町道路線の認定について	○	○	○	○	●	○	●	欠	○	○	○	○	○	●	●	可決
議案第40号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(七ツ森保育所)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて(コテージむら施設(管理センター・体験農園))	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第42号	雫石町保育料条例の一部改正について(保育料の額を改定)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第43号	雫石町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(国の基準の改正による整備等)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第44号	平成27年度雫石町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※前田議長は採決には加わりません。

平成28年 第1回臨時会

平成28年第1回臨時会が2月22日(月)に開催され、専決処分など8件について、審議されました。

平成28年第1回雫石町議会臨時会 議決結果等一覧 会期：2月22日(月)

議案等番号	件名	議員名													採決結果		
		堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二		坂下栄一	加藤眞純
承認第1号	雫石町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	承認
議案第1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	平成27年度雫石町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	平成27年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	平成27年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	平成27年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	平成27年度雫石町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	平成27年度雫石町下水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※前田議長は採決には加わりません。

平成28年 第3回臨時会

平成28年第3回臨時会が3月30日(水)に開催され、雫石町まちおこしセンターの指定管理者の指定期間の変更など3件について、審議されました。

平成28年第3回雫石町議会臨時会 議決結果等一覧 会期：3月30日(水)

議案等番号	件名	議員名													採決結果		
		堂前義信	横手寿明	山崎芳邦	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二		坂下栄一	加藤眞純
議案第1号	公の施設の指定管理者の指定期間の変更に関し議決を求めることについて(雫石町まちおこしセンター)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	可決
議案第3号	平成28年度雫石町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※前田議長は採決には加わりません。

3月定例会

一般質問 町政を問う 10議員が質問

質問者	質問内容	掲載頁
 やまざき るみこ 山崎留美子議員	14ヘクタール活用、 中身の説明をていねいに	11
 むらた あつお 村田厚生議員	4 地区別地域づくり計画への 取り組みは	12
 かとう ますみ 加藤真純議員	14ヘクタール活用を 再検討しては	13
 かわぐちかず お 川口一男議員	雫石町の農業施策は	14
 やまざき よしくに 山崎芳邦議員	女性職員の さらなる管理職登用を	15
 いわもちきよみ 岩持清美議員	町有地開発の資金計画は	16
 うわのみよじ 上野三四二議員	農業施策 農協と連携を	17
 おおむらしょうとう 大村昭東議員	随意契約法令 軽視ではないか	18
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	高校再編で雫石高校は どうなるのか	19
 いしがめ みつぎ 石亀 貢 議員	教育委員会制度改革は	20

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

14ヶ所活用、中身の説明を ていねいに

町長／具体的計画がまとまり次第 行いたい



指定管理や外部委託。おまけに随意契約：「アウトソーシング」だよ。過ぎたるは及ばざるが如し、と言っ言葉もあつたっけ…。

問 14ヘクタールの活用は、有料老人ホームの設置が前提となり特化して映るという声がある。町民への説明会開催予定は6月から7月としているが、丁寧な説明をすることが早期に必要なではないか。

町長 福祉や農業分野など具体的な方向性について検討してきている。子どものプレーパークや農業体験ハウスなどの案もあり、高齢者住宅に特化したものではない。また、町民説明会の開催は、(株)コミュニティライフしずくいしにおいての具体的な計画がまとまり次第行いたい。

問 随意契約書の中にCCRCという言葉が出ていますが、町民の方から多く聞かれたことが「CCRCって何？」だった。事業について誤解のないように説明してもらいたい。

企画財政課長 元気な高齢者の方が移住をして、生きがいを持って新しい人生を、そのエリアでの活躍を進めていくというような内容の意味と捉えている。

問 4地区別地域計画の中では町有地14ヘクタール活用の話はなかった、と参加者から聞いている。町からそういう投げかけが最初にあったら住民も一緒に考えたのではないかとこの意見もあったが。

企画財政課長 4地区の地域づくり計画は、住民の皆様が主体となって活動し実践していくということがまず大切だと考えた。その結果を地区ごとに反映波及させ、ゆくゆくは14ヘクタールとつなげていきたい。

除雪事業、たった1年で NPOに戻したのは

問 町が一部直営で行った除雪事業を随意契約の形に戻した理由は、一括委託した場合の想定値とほとんど変わらない結果だったからとしている。現実額での相違は。

町長 一部直営による経費部分を委託で行った場合と想定し算出したが、実際の除雪経費が41万4,089円上回った。

問 昨年は5mを超す大雪で大変な年だった。直営をわずか1年でやめるのではなく、人を育てていかなければオペレーター技術もつかないのではないかと。せめて3年やってみる考えはなかったのか。

地域整備課長 準備期間や指導もうまくいかなかったという部分があったのも事実だ。臨時の運転手募集も年度初めからやったが実際は二人しかなく、人材の確保も難しいと判断した。

4 地区別地域づくり計画への取り組みは

町長／地域づくり推進室を設置し、地区と連携



笑顔で、
やすまず、
臆せず、
ひるまず、
ガンバルのが
人生だろ。う。

問 これからの地域づくり計画を、どのような体制で推進していくのか。

町長 地域づくり会議を継続的に開催できるよう地域づくり推進室の設置をし、専従的に地区と連携できるよう進める。また地域おこし協力隊員を募集し地区に入っの活動体制も検討している。

問 地域づくり計画、これは総合戦略の中で進めていくのか。

企画財政課長 当町で作成した人口減少対策の総合戦略については、行政が行う人口減少対策、地域づくり計画につきましては地域の皆さんが主体的に行う活動ということで捉えている。

問 町の将来を考える4地区別「地域づくり計画」発表会が開催された。大きな感動と希望をもらったが、この事業の取り組み内容について伺う。

町長 人口減少時代に負けない^{まち}社会づくりを目指し、行政区、地域コミュニティ、団体の枠を超えた「地域で支え合う力」を強化する事が一層重要となってきた。さまざまな地域の皆さんで構成する「地域づくり会議」を地区ごとに、いわて地域づくり支援センターのサポートを受け、地区の現状を見聞した。その中で改善活用策を検討する地域点検、合わせて次の時代を語り合い、その実現のために必要な取り組みを検討するワークショップを開催した。これからの活動メニューを「地域づくり計画」として発表会を行った。



初めて開催された町民による発表会

■他にこんな質問もしました

・経営所得安定対策等の水田活用について

14ヘクタール活用を再検討しては 町長／会社設立参加者と続行

問 14ヘクタール町有地活用計画は、国によって予め用意された制度の利用に終始し、本質的な地域課題の解決に結びついてなく、後世にツケを残す負の遺産となり町の命取りになりかねない。次のことも視野に入れて町有地活用を再検討しては。

① 14ヘクタールの利活用ありきではなく、既にインフラが整備されている、南畑にある町有地の方が、温泉があり、ゲートボール場がある。さらには廃校舎が予想されその活用もでき、同敷地内に日赤鷺鳴荘も移転予定で、アクセスする道路もある等よほど優位性がある。

そのインフラ整備の1億1千万円は町民の請願陳情で100件近くも待機させている生活道路の整備に充てることが賢明では。

② 14ヘクタールはインフラのいない太陽光発電とか農業用地にして、貸し出しては。

③ 計画施設が本当に必要とされるなら、人口減少・少子高齢化社会と言うこの縮小化時代に、郊外の大規模開発構想ではなく、中心商店街、駅、役場、診療所等の周りに配置しては。いわゆるコンパクトタウン構想で、今ある医療施設や福祉施設、商店街などを有効活用し、身近に金を掛けずにニーズに合わせて展開、充実させていくことの方が、中心市街地の活性化が図られ、コミュニティの核となり得る商店街も再生される。できあがっているインフラを賢く使うことにも繋がるのでは。

町長 ①の南畑町有地はそれぞれの使用目的に沿って活用していく。②は14ヘクタール活用の中で、太陽光エネルギー活用や障がい者の就労の場としての農業の活用も検討していく。③は「歩いて暮らせるまちなか居住エリアの再生と町全体の居住計画の再編」等のプロジェクトを進めていく。



1票差の可決とは非常に重みのある議決で、再検討してはと言っ町民の声でもあるのだが…。



開発が計画されている14ヘクタールの町有地

■他にこんな質問もしました

- ・14ヘクタール利活用計画関連約5,500万円をなぜ随意契約としたか
- ・奥産道の開通推進を

雫石町の農業施策は

町長／農地の有効活用と農畜産物の生産振興をはかる



い町住
いにみ
いかな
がなや
なれす
あばい
…。

問 雫石は農業の町と言っているが、農業人口が減少している今日、雫石町行政として農業施策をどう考えているか。

町長 平成27年10月に、雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。4つの基本目標を設定し、町民が生き生きと活躍し、若い世代が定着、定住しながら誰もが住みやすいまちづくりに挑戦することとしている。

その1つ目の柱として生き生きと仕事の出来るまちづくりを目指し、農地の有効活用と農畜産物の生産振興、担い手、後継者の確保対策に取り組んでいくこととしている。

問 3年前の豪雨災害で多大な被害を町内で受けた。当初から私は人災もあるのではないかと質問しており、雨の量が非常に多かったの一言で終わってはならないと言っている。

南畑小学校入口の土砂崩れ、片子沢地区の水害などは、県道の横断管の口径が小さいから発生した災害である。復旧工事は、現況復旧しかできないので、今後また災害が発生する可能性が高い。国、県に対し、今後口径の大きい管に換えていくよう要望しなければならないと思うがどうか。

復興整備課長 今回の大雨を契機に、問題のある箇所について、26ヶ所ほど拾い出ししている。3月で復興整備課は廃止になるが、農林課、地域整備課にデータを引き継ぎ、国、県土地改良区に、はたらきかけるよう申し伝える。



国道を横断する水路（千刈田交差点付近）

問 女性職員のさらなる管理職登用の構想は考えられないか。

町長 性別に関わらず意欲、能力、実績など勘案して適任である人材を登用している。

町立保育所の運営は

問 町立保育所は、今後も直営で運営するのか。

町長 町立七ツ森保育所については、建設時の起債償還が平成30年度で完了するので、平成31年以降の民営化を考えている。大村・橋場のへき地保育所は町直営で運営していく。

国見山荘の今後は

問 国見山荘の最近の入り込み状況と収支状況、また今後も存続するのか。

町長 平成25年度1,203人、平成26年度1,116人、平成27年度1,553人で、平成27年度は前年比437人の増。平成27年度は前年比を上回ったが、10年前の平成18年度は20,784人の利用実態で、当時に比べ40%減少している。収支状況は、平成25年度145,000円、平成26年度166,000円、平成27年度229,000円で、ここ数年は増加傾向になっている。

存続については、維持管理に年間300万円ほど経費がかかるが、引き続き施設維持に努め、使用料改定を検討しつつ営業を継続していく。



多くの利用が望まれる町営国見山荘

町長／性別に関わらず適任者を登用 女性職員のさらなる管理職登用を



女性議員が
増えれば
いいのになあ。

■他にこんな質問もしました

- ・町と指定管理者との協定内容は順守されているか
- ・子宮頸がん、乳がんの検診率の実態と支援対策について
- ・小学校の統合問題の遅延の最たる要因は何か

町有地開発の資金計画は

町長／3月末をめぐりに取りまとめる



問 沼返町有地 14 ヘクタール開発については、去る 1 月 15 日付をもって(株)コミュニティライフしずくいしとして発足し、社長に町長が就任し開発するとのこと。町民に対し積極的な説明が足りない。

インフラ整備、町負担額 1 億 1,000 万円に変更はないか。

町長 概算の試算として、道路延長 660 メートルとした場合の工事費であり、現在、町有地に係る基本設計等を策定しており、その計画を踏まえ算出したい。

問 1 億 1,000 万円以外に町負担や会社債務を保証することがないと確約できるか。

町長 当該区域内における施設建設費(株)コミュニティライフしずくいしへの運営に係る町の債務保証の予定はない。

町有地貸付契約は

町長 使用する貸付面積分を分筆し、当該区域を行政財産から普通財産に用途変更を行い、適正な価格で貸付契約を結ぶ。

問 (株)コミュニティライフしずくいしの会社所在地を役場とするのはいつまでか。

町長 会社事務所として適当な場所が見つかるまでとし、取締役会で取り急ぎ協議する。

同社は、総合計画推進プロジェクトを踏まえ設立した。総合計画の将来の実現のため、また人口減少対策として、総合戦略の目標を達成するため今後も、協力・連携して取り組んでいく。

問 雫石町職員は、14 ヘクタール開発を正しく認識しているか。

町長 全庁のプロジェクトで仕上げたもので、庁議等々でもその都度担当課から説明しており、職員の認識はひとつである。



14 ヘクタール町有地から望む岩手山

農業施策 農協と連携を

町長／農協は広域すぎて対応遅い



豪雨災害復旧は、
ご苦労されたと思っ
つ。

問 農業情勢は TPP 問題をはじめ厳しい状況にある。本町の農業振興を図るには、もっと農協と連携を深めていくべきだ。

米の新品種「銀河のしずく」の作付計画はどうなっているか。

町長 盛岡広域管内の首長と JA 新岩手と もっと連携し農業の施策振興を進めるための懇談会は、今年で 5 回目となった。本町からは、南部営農経済センターの権限強化や米、肥育牛、素牛導入など農業振興策を提案し連携強化と迅速に対応できる体制を何度も要望してきたが、農協が広域すぎて何事も対応が遅く、センター機能と権限不足を感じている。

新品種の「銀河のしずく」は岩手県として平成 28 年 100 ヘクタール、29 年 600 ヘクタール、30 年 1,000 ヘクタール、31 年 2,000 ヘクタール、32 年 10,000 ヘクタールの目標により「あきたこまち」に代わる品種として作付される。本町は平成 28 年に 16.8 ヘクタール、標高 240 メートル以下の地域で特 A ランクを目指す。

町民からの陳情・請願等の未着手事業は

問 町民から道路改良ほか多く陳情・請願ある中で未整備、未着手が 70 件もあり、関係者からは放置しているのではないかと不満の声がある。特に御所地区が遅れている。整備見通しを聞きたい。

町長 道路改良、舗装、歩道設置、側溝など陳情・請願は 76 路線となっている。うち 6 路線は事業着手している。残るは 70 路線、その内の雫石 2 路線、西山 2 路線、御明神 2 路線、御所 3 路線の計 9 路線は優先整備を計画している。財源確保に努め必要性、利用度、緊急性を勘案して整備促進を図る。

インフルエンザ予防対策は

問 インフルエンザ予防対策は、どうなっているか。また、プラズマ乳酸菌含有ヨーグルトは、インフルエンザ流行期摂取で罹患率低下に効果があると本町の小中校で 3 年間、学校給食で試食の結果を日本公衆衛生学会で発表されたが、学校給食に取り入れる考えはあるか。

町長 予防接種法に基づく定期、任意接種に努めている。平成 24 年から乳幼児を対象に接種料金 2 回分の一部助成、平成 25 年からは

中学生まで拡大し、小学生は 2 回分の一部、中学生は 1 回分の一部を助成し重症化予防を図っている。定期接種 B 類予防接種は 65 歳以上で平成 13 年から一部助成を続けている。

教育委員長 インフルエンザ対策として「プラズマ乳酸菌含有ヨーグルト」の摂取効果は期待できるが、給食費の増額による保護者負担が心配されることから価格交渉を含め検討している。

■他にこんな質問もしました

・町長の施政方針と組織改編について

随意契約法令軽視ではないか

町長／法令に基づいて進めている



7件の
随契法令違反の
恐れあり。
「随契は情実に
左右され、公正な
取引の実を失し、
官商結託の
弊を生ずる。」
と教科書にあります。

問 沼返14ヘクタール町有地活用事業に係る7件の、約6千万円の随意契約は、その根拠法令を適用すれば、1億円でも随契できるのか。

町長 質問通告にないので答弁できない。

問 7件の随契は「官・学・民」の結託の弊を生ずる気がする。町長の言う民間感覚、民間発想とは法令を無視することか。

町長 そうということではない。認識の違いだ。

問 7件の随契は、最高裁の判例に照らし合わせても、無効契約ではないか。精査すべし。

総務課長 その内容を再度精査する。

問 最高裁の判例を熟読玩味して善処すべし。

町長 むやみやたらに随契はしてはいない。

問 地方公共団体の長は議会の議決を経た上でもろもろの事務を執行することになっており、独断専行は許されない建前になっているが、14ヘクタール町有地活用プロジェクト予算が否決されたにもかかわらず、その業務を続行したのは、議決無視の独断専行ではないか。

町長 そういうことは一切ないと考えている。

各マスタープランの工程表は

問 本町には、新エネルギービジョン、環境基本計画、地方創生総合戦略など、たくさんあるマスタープランがあるが、これを実行実現するための制度設計はどうなっているか、その仕組みと実施計画と工程表を示せ。

町長 それぞれの基本計画について、政策評価会議、審議会などにおいて、毎年度見直しを行いながら取り組む。

問 町行政が、町民の福祉の増進を目的として、民主的、能率的に、しかも公正に行われるかどうかは、「行政のプロ」として主役たる役割を演じている町職員が、職務遂行をどう思考し行動するかにかかっているが、職員のコンプライアンスなどのサービスの実態をどう分析把握し、人口減少自治体の危機を乗り越えるため、職員の能力開発をどう進めているか。

町長 人事考課及び人事評価により、能力・実績に基づく人事管理を徹底し、各種研修を通じ、行政ニーズを見極めながら、住民目線で思考し、職員の育成に取り組む。

高校再編で雫石高校はどうなるのか

町長／現定員で存続、

大幅欠員の場合は学級減に



当町がいつまでも
あり輝く町で
あり続けるため
守るべきもの、
それは地元の
雫石高校である。
全町民で盛り立て
ていかねばなら
ない。

問 新たな県立高等学校再編計画案（28年度～37年度）では「1から3学級規模校については、今後、入学者でおおむね20人の欠員が生じた場合には翌年度に学級減を行う」とあるが、この基準は何年度から適用になるのか。

町長 県内各ブロック内における普通学科と専門学科等のバランスなどを考慮し検討するもので、おおむね20人の欠員を生じたことをもって直ちに学級減を行うものではない。適用については、28年度入試状況から考慮される。雫石高校は、再編計画案の前期計画（28年度～32年度）期間中の学級減の予定はないが、40人以上の欠員が生じた場合は、翌年度の学級減が検討される。

問 県教委では、統合基準を設定し、裁量でほぼ毎年度学級減を行ってきたし、平成27年11月20日に当町で開催された今後の県立高校再編案に関する出前説明会でも「従前の統合基準と同じ基準を設定し、より厳格に運用していく」としていたので、前期計画期間中でも学級減は行うと思うが。

学校教育課長 出前説明会では、「1学級（40人）以上の欠員が生じた場合、原則して翌年度に学級減を行う」又は「1学年2学級（80人定員）の募集定員に対し、入学者が60人を下回る事が2年続いた場合、原則として翌年度に学級減を行う」との統合基準も示されたので、入学者の状況によっては学級減はあり得ると思う。

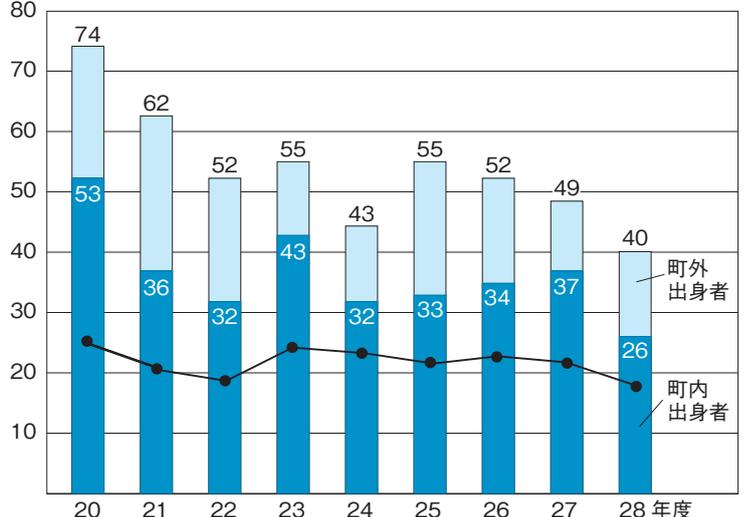
問 「地域との連携をしていく」としているが、どう取り組もうとしているのか。

町長 市町村の主体的な取り組みとして、連携したい事項がある場合には、県教委として、その考えを十分に尊重しながら、各高校に設置している教育振興会等の組織を活用し、学校の魅力向上につながる取り組みを具体化させていきたいとしているものであり、雫石高校、県教委と連携し、魅力向上に向けた取り組みを検討していく。

■他にこんな質問もしました

・平成28年度予算案について

雫石高等学校入学者数の推移（定員80人）



※折れ線は雫石中学校の進学割合 (%)

教育委員会制度改革は

町長／責任の明確化、危機管理体制の構築



地域活性化の
処方箋
主役は住民、
企業であることを
認識する
必要がある
あると思うが…。

問 平成27年度から教育委員会制度が改正され、新教育長が創設、国の制度改革で、常勤の教育長に責任の一本化されたが教育委員会には政治的中立が求められている。特に大きな権限を持った首長が総合教育会議を通じて、首長の都合の良い教育を行おうとするのではという懸念も一部報道にあるが。

町長 教育の政治的中立性、持続性、安定性を確保、教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化、地方に対する国の関与の見直しを図るため改革を行うもの。今後、教育委員会と教育行政の方向性を共有、一致して執行にあたる。

問 総合教育会議の事務局は首長部局に置くとなっているが。

学校教育課長 教育委員会事務局に委任または、補助執行も可能である。

地方創生で岩手銀行との連携協定は

問 本町の実情に即した「まち・ひと・しごと創生」を効果的、効率的に推進するため、岩手銀行との連携協定の締結内容は。

町長 岩手銀行とは本町の地方創生に関して協力を目的に連携協定を締結、内容は ①6次産業化による農林業の推進 ②創業支援や事業承継の推進 ③地域資源を活用した観光業の推進 ④移住・定住促進 ⑤空き家の利活用 ⑥生涯活躍のまち事業推進 ⑦結婚支援事業の推進 ⑧地域づくり推進 ⑨その他、9項目の推進に連携・協力する内容であるが具体的には今後検討。



今年2月に行われた岩手銀行との締結式

総務常任委員会

(杉澤敏明委員長)

1. 所管事務調査【2月12日】

総務課から臨時議会(2月22日)に提案される給与改定に係る条例改正の内容と3月定例会に提案される組織機構の再編について説明を受けました。また、企画財政課から地方創生加速化交付金などについて説明を受けました。

2. 所管事務調査【3月7日・8日】

所管各課のより新年度重点事業等の聞き取り調査および所管する条例の制定・改正案に係る精査を行いました。

〔出納課〕年度末の資金繰り見通し、財政調整基金の長期運用、コンビニ収納などについて

〔税務課〕27年度町税収納状況(2月末現在)および28年度地方税制改正案について

〔防災課〕28年度重点事業(第2分団第1部消防屯所新築工事、防犯カメラ設置等)および活動火山対策特別措置法一部改正の概要などについて

〔総務課〕28年度重点事業(国民体育大会、参議院議員選挙通常選挙等)および雫石町行政不服審査法施行条例の制定案ほか3件の条例制定案、3件の一部改正案について

〔町民課〕28年度重点事業(あねっこバスの路線拡大、雫石町国保データヘルス計画による健康意識の向上等)について

〔企画財政課〕28年度重点事業(移住定住推進の取り組み、地方創生に関する連携協定)について

3. 閉会中の継続審査

地方創生の取り組みについて

教育民生常任委員会

(山崎留美子委員長)

1. 所管事務調査【2月5日】

雫石中学校スーパーエコスクール実証事業および武道場等整備事業について、その後の経過や進展状況など、学校教育課から聞き取り調査を行いました。

・エコ実証事業の太陽光発電工事は、蓄電池(10kw)を設置することから、増額となりました。

・武道場について、計画には暖房を予定していなかったとのことですが、避難所としての使用予想もあり、灯油ボイラーを設置することとなりました。

2. 所管事務調査【3月7日・8日】

28年度主要事業と条例改正等について

〔生涯文化課〕中央公民館生涯学習事業の吹奏楽教室への取り組みについて

〔社会教育課〕11月開催予定の戸沢サミットや富士市少年交流事業について

〔福祉課〕定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所開設について。民生児童委員活動推進事業やお互いさま情報交換と避難行動支援者マップの改修について

〔健康推進課〕町立診療所の入院、外来状況の推移、医療相談や包括支援事業について

〔学校教育課〕小学校統合準備委員会の進展状況、教育研究所設置について

・追加提案として、家庭的保育事業等設備および運営に関する基準を定める条例改正など

3. 閉会中の継続審査

- (1) 教育文化のまちづくり
- (2) 高齢化対策について

産業建設常任委員会

(岩持清美委員長)

1. 所管事務調査【1月26日】

農業委員会総務委員との意見交換会

- ・地域農業の担い手、後継者対策について
- ・特産品の発掘について

2. 所管事務調査【3月6日】

所管7課(農林課、農業委員会、環境対策課、地域整備課、復興整備課、観光商工課、上下水道課)より28年度の主な事業の説明を受けました。(一部抜粋)

〔観光商工課〕28年度からの新規事業として①若者雇用拡大奨励金②資格等取得支援助成金③空き店舗活用事業補助金④タイ市場開拓事業⑤雫石駅南イベント交通広場の整備について

〔復興整備課〕平成25年8月9日豪雨災害に伴う災害復旧関連工事等事業の完了報告について

3. 請願審査【3月7日】

12月定例会で付託され継続審査となっておりました「TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退、調印中止を求める請願」については、「一部採択」とすることとしました。

4. 閉会中の継続審査

雫石町の産業振興について

- (1) 農業
- (2) 商工業
- (3) 観光業



議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



おおくぼ ふみたか
大久保 文隆さん
(63歳・林行政区)



かやはし としお
茅橋 寿男さん
(40歳・八行政区)



ささき てつお
佐々木 徹郎さん
(39歳・安庭行政区)

地域コミュニティの 必要性

私が住む林行政区は古くから住んでいる方々や、開発が進んで移り住んできた方々があり、世帯数は320を超えております。この、新旧の人たちの交流を図っているのが行政区であり、地域コミュニティです。行政区は総会、観桜会、町民運動会等の活動をし、地域コミュニティは児童見守り、世代間交流、自主防災、環境保全等の活動をしています。先立ちの方々には大変感謝しています。

東日本大震災、雫石に起きた平成25年の豪雨災害と、災害はいつどんな形で起きるかわからない中で、普段から地域コミュニティの必要性を感じております。特に、お年寄り世帯の増加で、近所の繋がりが益々必要になると思います。また、移り住んできた方々が多い地域でもあり、このような活動を通じた交流が必要だと思います。

運営費について、町からのコミュニティへの交付金が、年々減額されていて活動に支障がでていると聞きました。町には地域コミュニティ活動にご理解を頂きたいと思います。

皆に愛され 魅力ある町づくりを

27年度「雫石町地域づくり計画」という企画があり、メンバーに入ってみませんかと誘われ(?)入ることに…。

地元地域を歩いて回り、普段気付かないような魅力や現状を確認し、数回ワークショップ等行いました。改善しなければいけないこと、伸ばしていきたいこと、そして新たに取組みたいことなど皆で話し合い計画を作りました。

人口減少・少子高齢化・子育て・地域医療・防災・歴史や伝統の継承・世代間交流・観光・農業・定住…等等、様々なことを考えていかなければならないのだなと気付かされました。

5年後、10年後、20年後雫石町が、皆に愛され魅力のある町になれるよう、議会や町・町民が一丸となって取り組んでいかなければならないと思います。そのような町になることを期待しています。

スポーツ少年団活動に ついて思うこと

私は10年間、安庭小学校にて野球のコーチを務めさせていただきました。この10年間を振り返ると、やはり一番に感じることは、チーム数、人数の減少です。

野球に限らず、町内において、どのスポ少活動でも一番の問題ではないかと思います。私自身、小学校、中学校、高校、大学、社会人、そして、いま現在も野球に携わっておりますが、子どもたちにいかに野球に興味を持たせるか、また長く野球を続けさせるかが指導する側の最大のテーマだと思います。

私の高校の後輩で友人でもある、東北楽天ゴールデンイーグルス所属「銀次」選手がおりますが、プロ野球選手と触れ合える野球教室等のイベントを、町をあげて企画していただけると、野球に興味を持つ子どもたちが増えるのではないかと思います。

ふるさとへの便り— 63

在京雫石町友会 会員 ^{たねこ}種子キエさん



私の想い出とふるさとに感謝

父は横手留蔵、母は築場ユキです。実家の孫八は下久保の旧家で昔は庄屋であったようです。

私は孫八の家に、6番目の末娘として生まれ、子供の頃は大屋のキエっ子と呼ばれていました。姉はお力と呼ばれた女傑で、私を背中に乗せて雫石川の急流を泳いだこともあります。

下久保の家の上で小川が二手に分かれ、船階造りの曲がり屋で白馬^{しろうま}を飼っており私ととても仲良しでした。私に懐いていて私が行くと前足を折って蟹^{たてがみ}につかまらせて背中に乗せてくれました。また上の畑（今の火葬場あたり）に働きに行くとき、白馬の鞍に着けたこびるを入れていた桶に赤ん坊の私を乗せて手綱を鞍に縛ると、自宅まで賢くひとりで帰宅したそうです。

庄屋だったせいか家には刀や槍が一束以上隠してあったが、兄嫁がイタコに騙されて全て取られてしまった。小学生のころ初めての使いで、おはぎに入れる砂糖を買いに行きました。あまりに嬉しくてお金を握って駅に向かい軌道道を走って行きました。お店に着いてお金を落としたことに気づき、軌道の砂利と枕木のの間を探したが見つからずに、暗くなって戻って母に泣きながら告げると、母は「一生懸命さがしたいへんだったな、でも軌道道は広くて見つからないさ」といって叱らずに、砂糖なしのおはぎを作って、食べる

ときに「みんなして砂糖が入ってると思って、うまいうまいとって食べるべ」といって慰めてくれました。私はこの時からお金を大切にするようになりました。雫石川（河原）で泳いだり、やな（築）で魚を拾ったり、滝の上温泉の近くでナメコや椎茸を取って、芋の子汁にして食べた思い出があります。

小学校の担任は海老久田先生でした。学校の同級生は65人で、クラス会の名前はムクドリ会といい、何回か同級会に行きました。同級生には後に先生となった上野善一さんや、鶯宿温泉の石塚旅館の石塚一さんや、石塚善輔さん、石塚栄さん、後藤ミエちゃん、正木キミさん、早くに死んだお寺（上寺）の良一さん等が記憶に有ります。

趣味は裁縫・生け花・書道・写経・お寺参り・般若心経を写経して、息子に連れられて全国の黄檗宗のお寺約300ヶ所を三度も巡り、納経して御朱印を頂きました。その際に全国のカラオケ喫茶巡りもしています。私のレパートリーは約14曲で、色んな人との出会いを楽しんでいます。

約40年間の養護教諭を退職し、息子の住む厚木に家を建て移り住んで現在は息子夫婦と同居しており世話をしてもらっています。また雫石町友会は楽しみに毎回参加して郷土の芸能や出会いを楽しんでいます。

（長男彰氏代筆）



山岸小学校時代
（後列左から4人目が筆者）



吾妻スカイラインで子供達と
（昭和35年）



花巻温泉家族旅行

大正13年10月6日生まれ（91歳）。雫石町尋常高等小学校、岩手産婆看護婦学校本科卒業。岩手医大大学病院、二宮内科勤務（2ヶ月）薬局勤務（2年）、養護教員〔盛岡市立山岸小学校（31年）一遠野市立上郷中学校（3年）一紫波町立赤石小学校（1年）一盛岡市立太田東小学校（2年）〕、神奈川県厚木市在住。

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



ご縁があり、町外から迎えられた
「お嫁さん」



かずのり
夫の和教さん(29歳)と。

いとう まい
伊東 舞さん(27歳 北上市出身)
(旧姓:澤田、岩持行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは?

- 以前勤めていた職場で知り合いました。

Q- 雫石町に暮らしてみて、いかがですか?

- 美しい山々に囲まれ、四季折々の自然の恵みに溢れた町だと感じています。おいしい空気、おいしい食べ物、楽しいお祭りやイベント等々、どれも素敵ですね。

Q- 町へ望むことは?

- 町内にも産婦人科があったら、もっと子供を産み育てやすいのではないかと思います。

議会の主な動き 1月~4月

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1月 26日 産業建設常任委員会と農業委員との懇談会 | 2月 25日 3月定例会開会(~3月18日)
教育民生常任委員会
議員全員協議会 |
| 2月 4日 雫石町議会議員研修会
議会定例会検証会 | 26日 議会運営委員会 |
| 5日 教育民生常任委員会 | 3月 7日 常任委員会(~8日) |
| 6日 岩手町・葛巻町・雫石町地域
創生自治体サミット2016 | 9日 予算特別委員会(~15日) |
| 8日 北海道厚沢部町「ゆいまーる
厚沢部」視察(~9日) | 15日 政務調査会 |
| 12日 総務常任委員会 | 17日 議会運営委員会
議員全員協議会 |
| 15日 政務調査会/議員全員協議会 | 28日 議会運営委員会
議員全員協議会 |
| 16日 議会運営委員会 | 30日 第3回臨時会 |
| 19日 広報編集特別委員会 | 4月 11日 広報編集特別委員会 |
| 22日 第2回臨時会 | 15日 政務調査会/議会定例会検証会 |
| | 19日 広報編集特別委員会 |

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(1月~3月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
	件数	金額	件数	金額
1月	0件	0円	4件	20,000円
2月	0件	0円	4件	14,000円
3月	0件	0円	5件	18,000円
小計	0件	0円	13件	52,000円

今月の表紙

雫石ジュニア卓球クラブ
代表: 櫻田真一さん



左からコーチの畑さん
小野寺さん、谷地さん

今年で10年目を迎え、中学生は地区中総体優勝、小学生は全国大会出場を目標に、現在33名(小学1年から中学3年の男女)で活動しています。コーチ陣の願いは、中学、高校、大学、社会人と長く卓球を続けてもらうこと。毎週月・水曜日町営体育館で練習中。

入部等のお問い合わせは、代表櫻田さん(☎090-3126-8685)まで。

■編集デスク

当町議会は、その使命と責任を果たすため、情報公開と開かれた議会を目指しています。議会だよりは、議会での議決や質疑の内容、閉会中の議会活動等主なものを網羅し、読みやすく、分かりやすい編集を心がけていますので、ご一読いただければ幸いです。

議会広報は、現在、この議会だよりのほか、インターネットによる議場の映像配信やホームページでの議事録掲載等にも力を入れています。皆様におかれましては、これらを目的に合わせてご活用いただければ幸いです。特に、日中、傍聴できない方は、夜にでも録画による議会中継をご覧いただければ、より分かっていただけるものと思っています。
(編集委員 杉澤敏明)